



「石舞台古墳を眼下に」

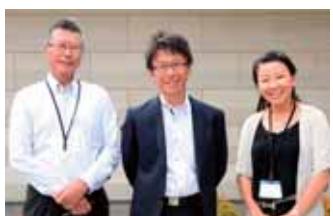
律令国家が誕生した國の始まりの地に、美しい日本の原風景が残る。



受け入れ民家の夫婦とフランス人高校生が入村式を終えて対面。
「お父さん、お母さん、よろしく！」



昔ながらの囲炉裏鍋を前に、日本文化の温かなもてなしを受けるシンガポールからの学生たち。



「明日香ニューツーリズム協議会」

明日香村の地域活性化のため、「民家ステイ」事業に取り組んでいます。最初は田舎暮らしに戸惑った子も別れ際には涙する姿も。感動の体験が子どもたちの成長に役立ち、明日香の未来につながればと活動しています。

談:事務局 下田正寿さん／写真中央

- 学校単位での申し込みから、将来的には一般の受け入れも予定。
詳細は問い合わせ。

問 明日香ニューツーリズム協議会 ☎0744-54-1525

日本の原風景へ 国内外から民家ステイ



Vol.
45



明日香村 地区



明日香村は、日本で唯一、村が丸ごと保存地区。古都保存法の特例対象地域であり、村の全域が古代史跡の博物館さながら。高松塚古墳や石舞台古墳、龜石など、あまりにも有名な史跡が点在します。さらに棚田が広がるどこか懐かしい里景色も大きな魅力。歴史も風土も村人の手で美しく守られて、次の世代へと受け継がれています。

そして3年前から、この地で新たな取り組みが始まりました。未来を担う子どもたちを対象にした「民家ステイ」です。これまで日本の修学旅行生はもとより、10か国にのぼる海外の学生たちを受け入れてきま

した。この取り組みには、農家をはじめ地元事業所や奈良県立大学の学生なども協力。農業・農業体験、日本の歴史文化体験や郷土料理作り、和太鼓体験など魅力あるプログラムで迎えます。窓を開ければ古墳が見える民家もあれば、史跡内に建つ家々も。土の下50cmには古代の遺構が眠る畑もあり、古代ロマンの里ならではの民家ステイが喜ばれています。

日本の原点であり原風景が残る地。だからこそ次の世代へ絆をつなぎ、明日香を共に育てていこう。そんな思いを抱いて、訪れる人々を温かくもてなし、迎え入れています。